

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	09	0401	展示活動事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-5	芸術文化の振興		
	施策	3	文化財の保護と活用		
目的	博物館事業の展示活動				
対象	市民				
意図	展覧会の開催により市民が普段目にする事が出来ない歴史的資料や美術作品を紹介し、郷土の歴史や文化財への興味と関心を高める。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○資料収集活動事業					
○調査研究活動事業					
○教育普及活動事業					
○展示活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展 「観じる民藝展 柳宗悦に学んだ尾久彰三コレクション」 7月18日～8月30日</li> <li>「現代の名刀展 北海道・東北の刀匠」 9月19日～11月23日</li> <li>・テーマ展 「春の収蔵資料展 華やぐ時間」 4月24日～5月24日</li> <li>「多田等観展 美仏礼讃」 6月6日～7月5日</li> <li>「秋の収蔵資料展 刀と刀装の美」 9月19日～11月23日</li> <li>「花巻人形展 百花繚乱」 平成28年2月13日～5月8日</li> <li>・共同企画展 「東和町の画人 菊池黙堂」 12月5日～1月31日</li> </ul>				
市民参画の有無	[ 対象外 ]				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会			事業協力・協定
	後援・協賛	補助・助成			委託
活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 展覧会開催回数	回	計画	7	6	
		実績	7	7	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 博物館入館者数	人	目標	23,000	20,000	20,000
		実績	21,323	18,440	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
前年度に宮沢賢治記念館のリニューアルに伴う花巻市博での移動展示を行ったが、その期間における入館者数相当の減少が見られた。しかし国内で話題となっているテーマを取り上げた企画展を実施したことで、一定の入館者数の確保ができた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市内の考古・歴史・美術工芸品の資料収集・保管及びにこれらの調査研究並びに公開は、博物館の重要な活動の一つである。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	特別展、企画展、テーマ展においては、市民の要望にこたえられる展示を目指すとともに、知的好奇心を喚起するためより知名度の高い資料を紹介できる展覧会を招致できるよう努める。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	企画決定後の費用の積算にあたっては、展示資料の安全の確保と魅力を最大限に伝える展示を行うため、コストバランスを十分に精査していることから、事業費・人件費とも削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	特別展の入館料は多くの来館者が利用しやすいよう低価格としており、加えて団体割引等複数の割引制度を設定している。またテーマ展では、常設展示の入館料を原則としている。
総合評価 …上記評価結果の総括		
国内において関心の高い「刀剣」や「民藝」といった魅力のあるテーマを取りあげたことで、市民が歴史や文化財に親しみ、理解を促進する機会となった。 また、共同企画展や期間展示コーナーにおいては、休館中の東和ふるさと歴史資料館にかわり、東和町出身の文人画家や岩手の産業発展に尽くした先人などを取り上げ、積極的な功績の紹介に努めた。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 教育部 課名 博物館 担当係長 小原克仁 内線 32-1030

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	09	0401	展示活動事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		8,314	8,088		△ 226
財源 内訳	国・県				
	地方債				
	その他	469	408		△ 61
	一般財源	7,845	7,680		△ 165

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

地域の歴史や文化財、民俗芸能の保護と活用

事業開始の背景・経緯

博物館は、市民に郷土の歴史・文化を学び、興味と関心の向上を図る機関として市民からの要望のもと建設された。展示内容をより理解しやすくするため、毎年展覧会・各種講座及び体験学習を展開している。

事業概要

- 資料収集活動事業
- 調査研究活動事業
- 教育普及活動事業
- 展示活動事業
  - ・特別展 「観じる民藝展 柳宗悦に学んだ尾久彰三コレクション」 7月18日～8月30日
  - 「現代の名刀展 北海道・東北の刀匠」 9月19日～11月23日
  - ・テーマ展 「春の収蔵資料展 華やく時間」 4月24日～5月24日
  - 「多田等観展 美仏礼讃」 6月6日～7月5日
  - 「秋の収蔵資料展 刀と刀装の美」 9月19日～11月23日
  - 「花巻人形展 百花繚乱」 平成28年2月13日～5月8日
  - ・共同企画展 「東和町の画人 菊池黙堂」 12月5日～1月31日

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・市内各地域に所在する貴重な資料の収集と、その調査研究の推進を図る。
- ・来館者へのアンケートや直接の聞き取りにより、市民にとって関心が高く、知的好奇心を充足する展覧会や講座を開催する。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

